



“地域のことは地域で考えよう”

2014年10月27日

おきぎん県内景況・速報 2014年9月

— 県内景況は、拡大している —

■個人消費

スーパー売上高は全店ベース、既存店ベースともに前年同月を上回る。
百貨店売上高前年同月を上回る。
家電卸出荷額は前年同月を下回り、新車販売台数は上回る。

■建設関連

公共工事請負金額は前年同月を上回る。
生コン、セメントはともに前年同月を下回る。

■観光関連

入域観光客数は前年同月を上回り、観光施設入場者数も上回る。
ホテル稼働率は、シティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてで前年同月を上回る。ホテル客室単価は前年同月を上回り、宿泊収入(推計値)も上回る。

■企業倒産

件数、負債総額はともに前年同月を下回る。

現場主義とお客様からの信頼

※お気づきの点、不明な点などがございましたら、下記までご連絡ください。

(株)おきぎん経済研究所

TEL:098-869-8711 FAX:098-869-2200

おきぎん県内景況・速報(2014年9月分)



◎概況：県内景況は、拡大している。

9月の県内景況は、個人消費関連では、スーパー売上高は全店ベース、既存店ベースともに前年同月を上回りました。百貨店売上高は食料品や雑貨などが好調で、前年同月を上回りました。耐久消費財である家電卸出荷額は、太陽光パネルの売上減少などにより前年同月を下回りました。新車販売台数は軽乗用車・普通乗用車需要などにより前年同月を上回りました。

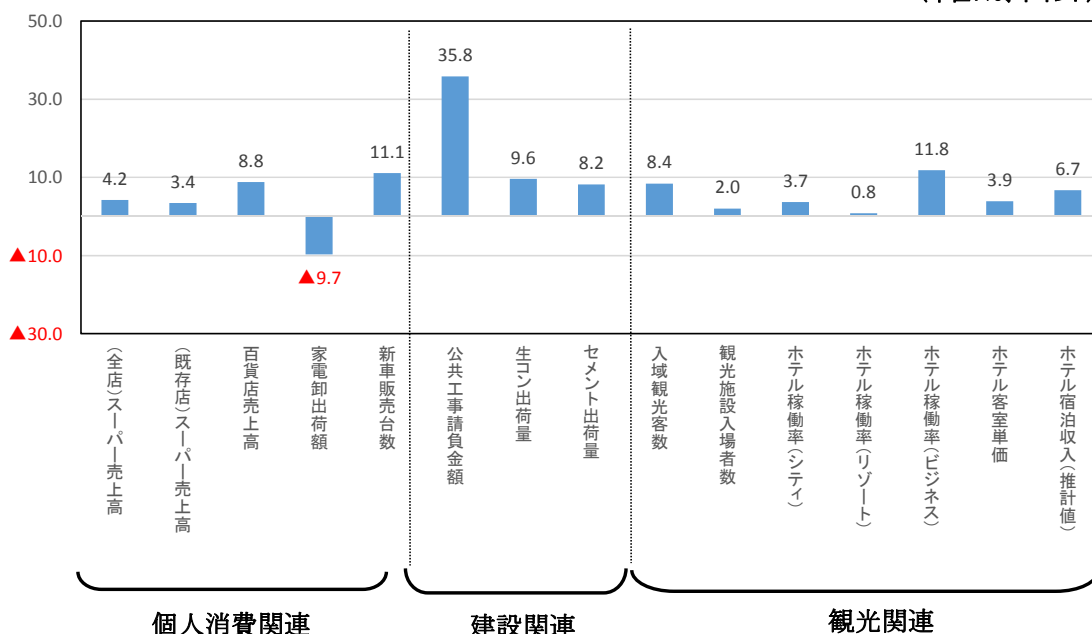
建設関連では、公共工事請負金額は、国や市町村発注工事増などにより前年同月を上回りました。建設資材である生コン、セメントはともに上回りました。

観光関連では、入域観光客数は24ヵ月連続で前年同月を上回り、観光施設入場者数も前年同月を上回りました。ホテル稼働率はシティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてで前年同月を上回りました。ホテル客室単価は前年同月を上回り、宿泊収入(推計値)も上回りました。

このような状況に鑑みて、個人消費において消費税増税に伴う駆け込み需要の反動等による影響が和らいでおり、また、建設関連や観光関連では堅調な動きが続いていることから「県内景況は拡大している」と景気判断を据え置きました。(2014年2月の上方修正後から8ヵ月連続で判断維持)

主要景気指標前年同月比

(単位: %、ポイント)



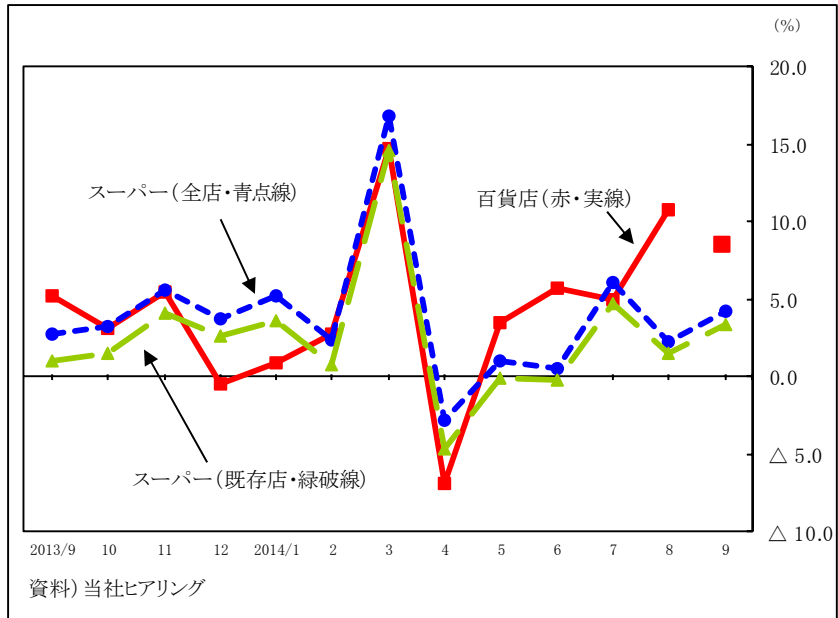


■ 個人消費: (やや良い)

①スーパー・百貨店売上高…スーパー売上高は全店ベース、既存店ベースともに前年同月を上回る。百貨店売上高は前年同月を上回る。

単位:%

	スーパー売上額		百貨店 売上額
	全店	既存店	
2013/9	2.8	1.0	5.2
10	3.3	1.5	3.1
11	5.6	4.1	5.5
12	3.8	2.6	△ 0.4
2014/1	5.2	3.6	0.9
2	2.4	0.8	2.8
3	16.8	14.6	14.7
4	△ 2.8	△ 4.7	△ 6.8
5	1.1	△ 0.1	3.5
6	0.6	△ 0.2	5.7
7	6.1	4.8	5.0
8	2.3	1.5	10.8
9	4.2	3.4	8.8



注1) 前年同月比

注2) 百貨店売上額については、9月よりサンプル数の変更に伴い、前月(8月)までの数値と連続しないため、使用する際は注意する必要があります。

9月の個人消費関連では、**スーパー売上高**は、「全店ベース(前年同月比 4.2%増)」が5ヵ月連続で前年同月を上回りました。ウェイトの高い「食料品(同 5.0%増)」や「家庭用品(同 4.1%増)」の売れ行きが堅調で前年同月を上回りました。

「既存店ベース(同 3.4%増)」では3ヵ月連続で前年同月を上回りました。品目別でみると、ウェイトの高い「食料品(同 4.0%増)」は、青果の一部(葉野菜など)に相場高がみられたものの、生鮮(肉・魚)などの売れ行きが堅調で前年同月を上回りました。家電を含む「家庭用品(同 3.6%増)」は家電・家庭雑貨などで消費税増税の反動減からの持ち直しがみられたことや、昨年に比べて気温が高く推移したことから、エアコンの売れ行きが好調で、前年同月を上回りました。一方、「衣料品(同 3.8%減)」は、気温が高く推移したことから秋物衣料の売れ行きが低調で、前年同月を下回りました。

百貨店売上高*は、「食料品」や「雑貨」の売れ行きが好調で前年同月を上回りました(同 8.8%増)。内訳をみると、ウェイトの高い「衣料品(同 1.2%減)」は、販促効果による夏物衣料の売れ行きが好調だったものの、昨年に比べて気温が高く推移したことから秋物衣料の売れ行きが低調で、「婦人服(同 0.2%減)」となり、前年同月を下回りました。

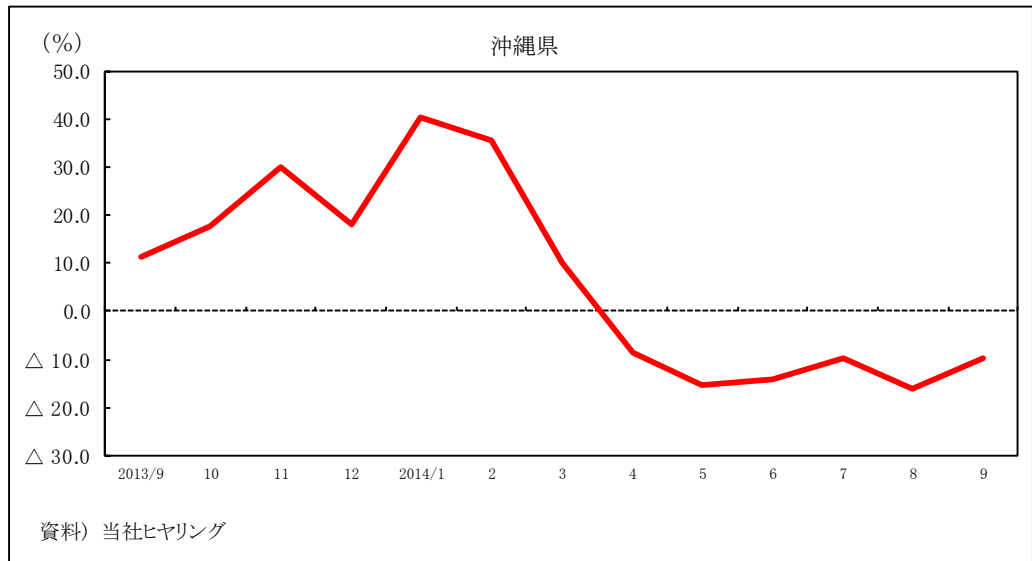
一方、「雑貨(同 23.2%増)」は、敬老の日のギフト需要などにより、売れ行きが好調で前年同月を上回りました。また、「食料品(同 39.4%増)」も一部店舗の改装による閉店があったものの、物産展や新規催事の開催などによる集客効果から売れ行きが好調で、前年同月を上回りました。

*百貨店売上高については、9月分より調査手法変更(サンプル数が異なる)に伴い、前月8月分までの時系列データと連続していません。ご利用の際は、その点、ご留意頂けますようお願い申し上げます。

②家電卸出荷額…太陽光パネルの売上減少などにより前年同月を下回る。

単位: %

	沖縄県
2013/9	11.3
10	17.6
11	29.9
12	18.2
2014/1	40.4
2	35.6
3	10.2
4	△ 8.7
5	△ 15.3
6	△ 14.2
7	△ 9.6
8	△ 16.1
9	△ 9.7



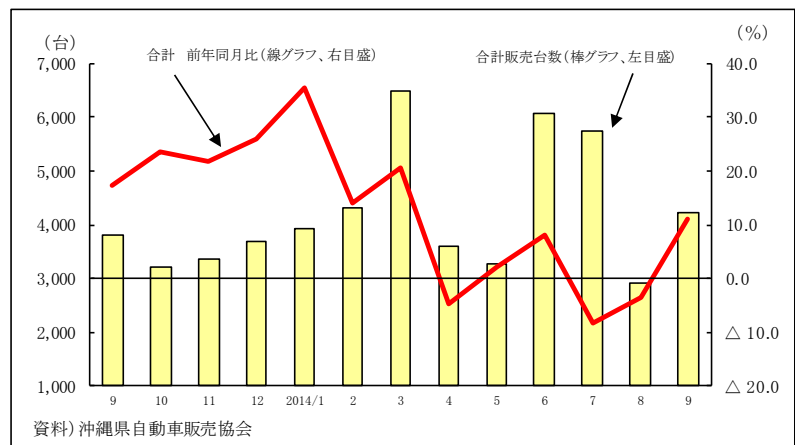
注) 前年同月比

家電卸出荷額は、商品入替え時期の前倒しに伴う旧型商品の販促効果や新型商品効果がみられたものの、太陽光パネルの売上減少により、6ヵ月連続で前年同月を下回りました(同9.7%減)。品目別で見ると、「太陽光パネル(同 61.1%減)」は新規接続中止に伴う売上減少の影響などから、前年同月を大きく下回りました。一方、「冷蔵庫(同 43.6%増)」「洗濯機(同 8.3%増)」「テレビ(同 15.2%増)」は旧型商品の販促効果や新型商品効果などから、売れ行きが好調で前年同月を上回ったほか、「エアコン(同 35.8%増)」も昨年に比べて、気温が高く推移したことから、売れ行きが好調で前年同月を上回りました。

③新車販売台数…軽乗用車・普通乗用車需要などから、前年同月を上回る。

単位: 台, %

	台数	合計	普通乗用車	小型乗用車	軽乗用車
9	3,808	17.2	4.2	24.1	14.6
10	3,226	23.5	37.2	52.4	12.6
11	3,356	21.9	46.3	12.8	16.9
12	3,689	26.1	51.9	24.9	23.7
2014/1	3,929	35.4	54.4	61.6	24.4
2	4,307	14.1	43.0	△ 7.2	17.1
3	6,481	20.5	26.1	23.1	15.8
4	3,590	△ 4.6	△ 12.9	△ 20.3	4.9
5	3,284	2.1	△ 0.9	△ 2.0	5.1
6	6,075	8.1	3.8	3.8	17.9
7	5,756	△ 8.2	15.3	△ 9.9	△ 11.9
8	2,914	△ 3.6	1.8	△ 4.7	△ 3.0
9	4,229	11.1	21.5	△ 3.7	8.8



注) 前年同月比

注) 普通乗用車及び小型乗用車は登録車、軽乗用車は届出車の数値を表示。

新車販売台数は、全体で4,229台(同11.1%増)となり、3ヵ月ぶりに前年同月を上回りました。車種別にみると、「小型乗用車(同 3.7%減)」が3ヵ月連続で前年同月を下回ったものの、「普通乗用車(同 21.5%増)」「軽乗用車(同 8.8%増)」はHV車や新商品(モデルチェンジ、マイナーチェンジ等)の需要が堅調に推移したことから、3ヵ月ぶりに前年同月を上回りました。

※普通乗用車及び小型乗用車は登録ベース、軽乗用車は届出ベースの数値を合算。

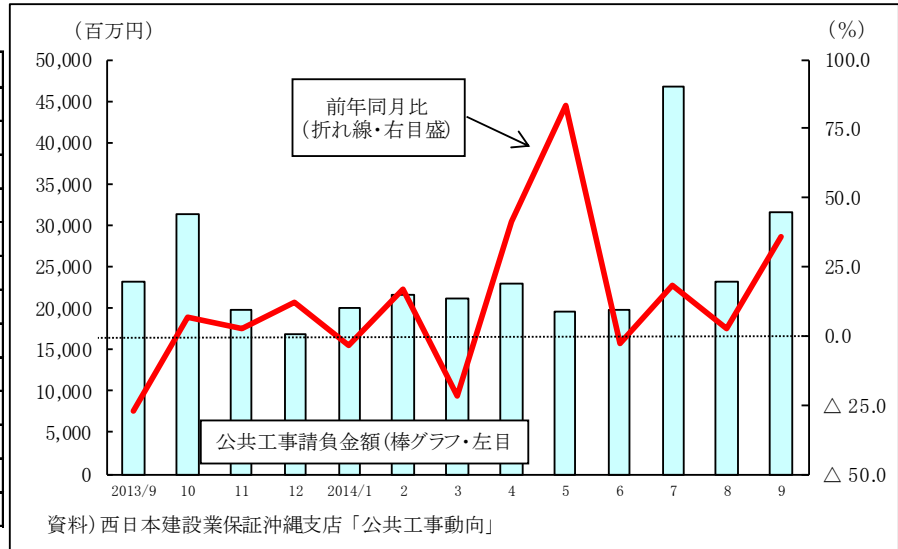


■ 建設関連: (やや良い)

①公共工事…公共工事請負金額は前年同月を上回る。

単位:百万円、%

	請負金額	前年同月比
2013/9	23,182	△27.5
10	31,327	6.4
11	19,880	2.5
12	16,792	12.0
2014/1	20,056	△3.4
2	21,681	16.6
3	21,096	△21.6
4	22,973	41.3
5	19,683	83.2
6	19,751	△2.8
7	46,674	18.5
8	23,163	2.4
9	31,485	35.8

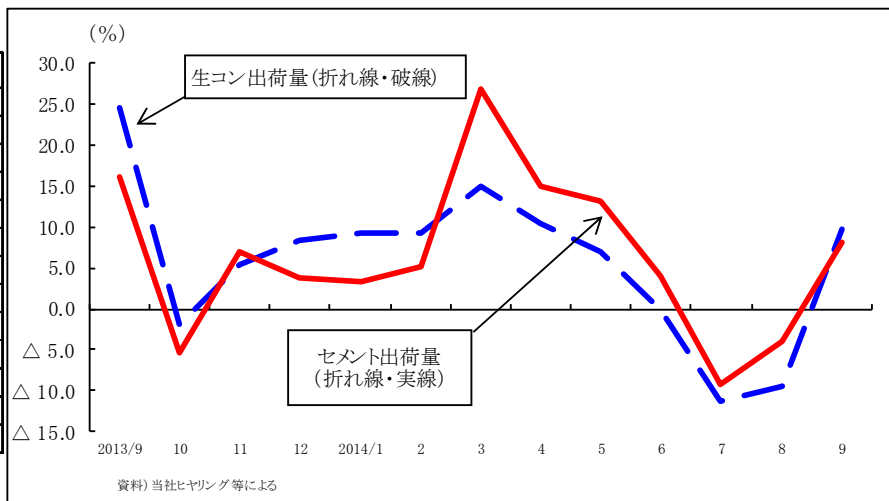


9月の公共工事請負金額は、前年同月比 35.8%増の 314 億 8,500 万円となりました(3ヵ月連続増)。発注者別でみると、「国(同 222.5%増)」は那覇空港滑走路増設関連工事、「沖縄県(同 15.9%増)」は浄水場関連工事や送水管関連工事、「市町村(同 25.1%増)」は小学校及び水泳プール増改築工事などにより前年同月を上回りました。一方、「独立行政法人等(同 93.6%減)」や「その他の公共的な団体(同 60.0%減)」は下回りました。

②建設資材…生コン、セメントはともに前年同月を上回る。

単位:前年同月比 (%)

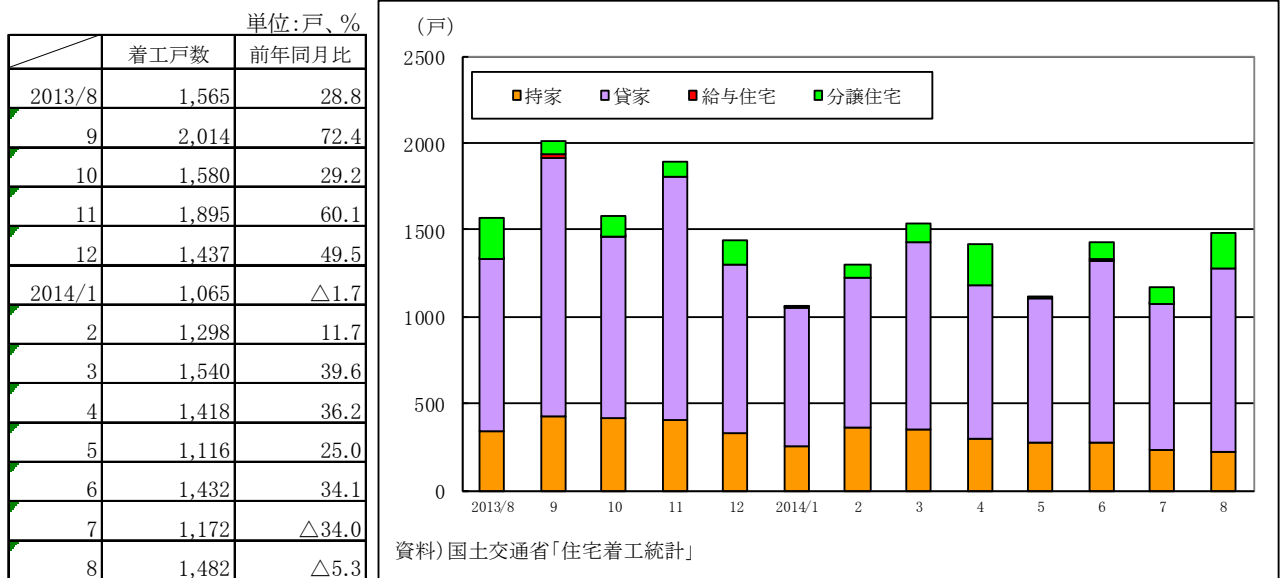
	生コン	セメント
2013/9	r 24.7	16.1
10	r △1.9	△5.5
11	r 5.3	6.9
12	r 8.4	3.8
2014/1	r 9.3	3.4
2	r 9.2	5.2
3	r 15.0	26.8
4	r 10.3	14.9
5	r 7.0	13.2
6	r △0.1	3.9
7	r △11.2	△9.3
8	r △9.4	△3.9
9	r 9.6	8.2



(注1) セメント出荷量は、速報値につき、確報にて修正される場合がある
(注2) 生コンデータは、当月より調査対象先を増やした為、遡及し修正している

建設資材関連では、**生コン**の出荷量は 9.6%増加し、4ヵ月ぶりに前年同月を上回りました。内訳では、公共工事向け出荷が前年同月より 37.3%上回ったものの、民間工事向け出荷は 2.1%下回りました。**セメント**の出荷量は 8.2%増と 3ヵ月ぶりに前年同月を上回りました。

【参考】 住宅投資 (8月分) …着工戸数は前年同月を下回る。



新設住宅着工戸数 (8月)は、全体で前年同月比 5.3%減の 1,482 戸と 2 ヶ月連続で前年同月を下回りました。利用別戸数をみると、ウェイトの高い「貸家 (同 6.4%増)」が前年同月を上回ったものの、「持家(同 35.2%減)」や「分譲住宅(同 10.0%減)」などが前年同月を下回りました。

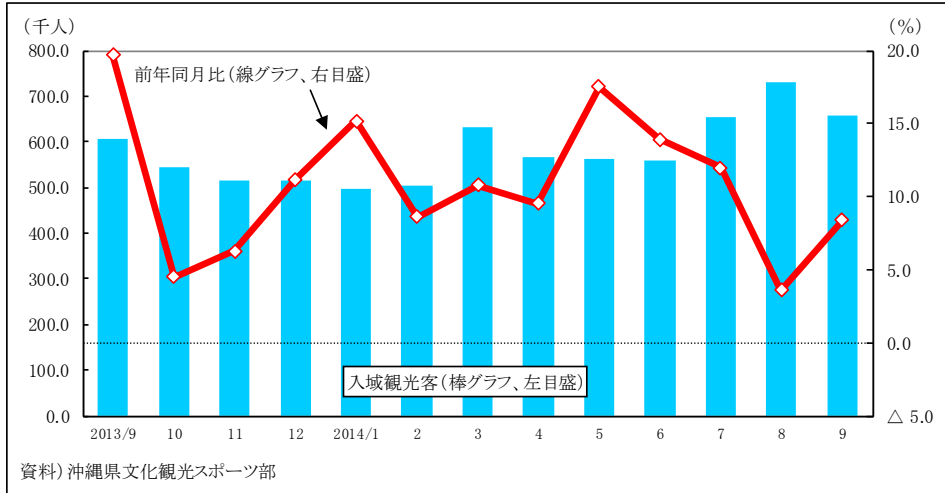


■観光関連： (良い)

①入域観光客数…24ヵ月連続で前年同月を上回る。

単位:千人、%

	入域観光客	前年同月比
2013/9	607.4	19.7
10	543.0	4.5
11	513.6	6.3
12	515.5	11.2
2014/1	495.1	15.2
2	503.1	8.6
3	630.2	10.8
4	565.6	9.5
5	561.4	17.5
6	557.3	13.9
7	653.9	12.0
8	731.2	3.6
9	658.7	8.4



※外国客は乗務員等を含む

9月の入域観光客数は、51,300人多い658,700人(前年同月比8.4%増)となり、24ヵ月連続で前年同月を上回りました。(9月としては過去最高、外国客が単月の過去最高)

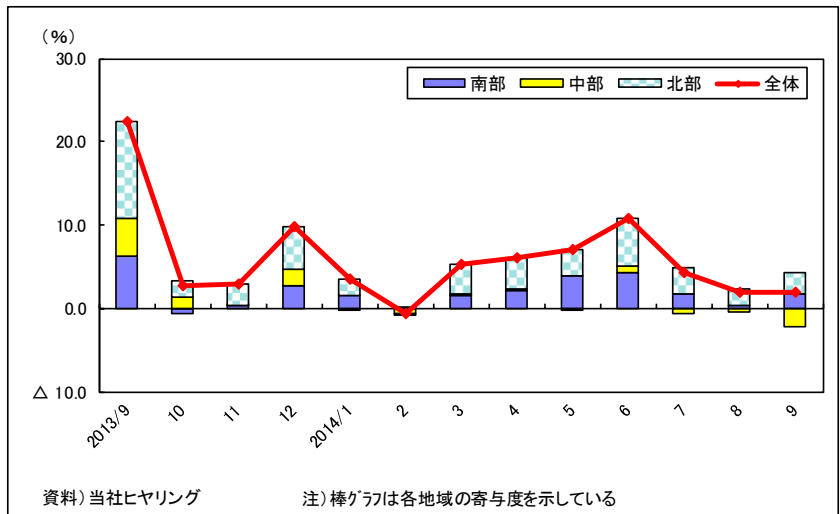
内訳をみると、「国内客(同2.3%増)」は558,800人と昨年よりも連休の日並びは悪かったものの、継続的な沖縄方面への旅行需要や航空路線の拡充(伊丹-那覇路線)効果等により、11ヵ月連続で前年同月を上回りました。

他方、「外国客(同63.2%増)」は、99,900人と14ヵ月連続で前年同月を上回りました。航空機材の大型化や路線の拡充、クルーズ船の寄港回数増加などにより、空路・海路ともに好調であったことから前年同月を上回りました。「台湾(同34.4%増)」「韓国(同111.5%増)」「中国本土(同121.1%増)」「香港(同64.6%増)」 ※乗務員等を除く2014年9月実績=全体643,500人(同7.8%増)、外国客84,700人(同66.1%増)、国内客は変わらない。

②観光施設入場者数…7ヵ月連続で前年同月を上回る。

単位:%

	入場者数(前年同月比)			
	全体	南部	中部	北部
2013/9	r 22.3	17.4	38.6	r 22.0
10	2.7	△1.4	10.2	4.6
11	2.9	0.6	0.05	6.1
12	9.9	6.5	14.4	11.6
2014/1	3.4	4.0	△0.1	4.0
2	△0.6	0.6	△4.0	△0.5
3	5.3	3.7	1.2	8.0
4	6.0	5.5	1.7	7.8
5	7.0	9.6	△0.01	6.7
6	10.9	11.1	5.6	12.0
7	4.3	4.9	△4.6	6.0
8	1.8	1.3	△3.0	3.4
9	2.0	5.0	△16.6	4.8



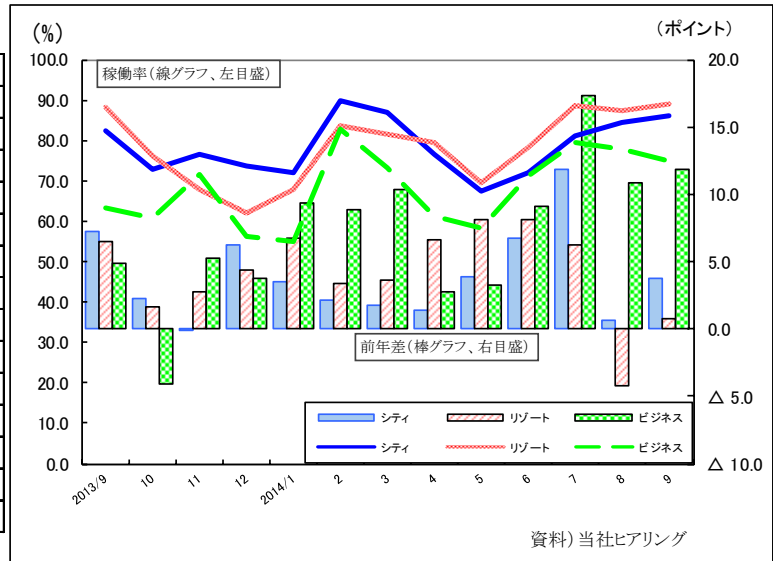
*調査対象施設数=南部6、中部6、北部5施設

観光施設入場者数は、全体で前年同月より2.0%増加(7ヵ月連続)しました。地域別にみると、南部にある観光施設は同5.0%増と11ヵ月連続、北部は同4.8%増と7ヵ月連続で前年同月を上回り、中部は同16.6%減と3ヵ月連続で下回りました。

③ホテル稼働率…シティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてで前年同月を上回る。

単位: %、ポイント

	稼働率			前年同月差		
	シティ	リゾート	ビジネス	シティ	リゾート	ビジネス
2013/9	r 82.3	88.0	63.3	r 7.2	6.5	4.9
10	73.0	76.2	60.6	2.2	1.6	△ 4.1
11	76.6	67.7	71.6	△ 0.1	2.7	5.2
12	73.7	62.0	56.4	6.3	4.4	3.7
2014/1	72.0	68.0	55.1	3.5	6.8	9.3
2	90.0	83.5	82.9	2.1	3.4	8.9
3	86.8	81.7	73.3	1.8	3.6	10.3
4	76.5	79.5	61.2	1.4	6.6	2.7
5	67.4	69.4	58.5	3.9	8.1	3.3
6	72.1	78.3	71.0	6.7	8.1	9.1
7	81.2	88.4	79.3	11.8	6.3	17.3
8	84.4	87.5	77.6	0.6	△ 4.2	10.9
9	86.0	88.8	75.1	3.7	0.8	11.8



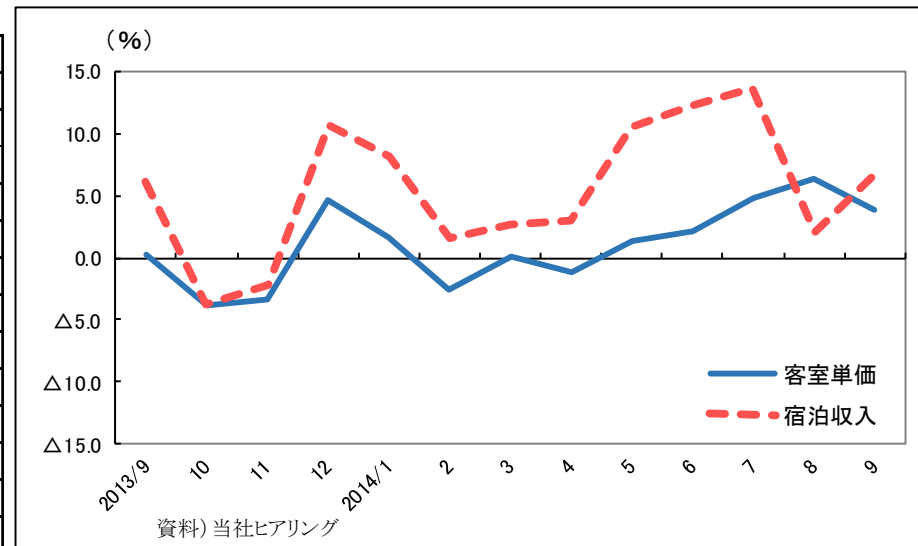
注)シティ10ホテル、リゾート19ホテル、ビジネス7ホテル
※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。

県内ホテル稼働率は、シティホテルが 86.0%と 3.7 ポイント上昇(10 ヶ月連続)、リゾートホテルが 88.8%と 0.8 ポイント上昇(2 ヶ月ぶり)、ビジネスホテルが 75.1%と 11.8 ポイント上昇(11 ヶ月連続)しました。

④ホテル客室単価・宿泊収入…客室単価は前年同月を上回り、宿泊収入も上回る。

単位: %

	客室単価	宿泊収入
2013/9	r 0.2	r 6.2
10	△3.8	△3.8
11	△3.4	△2.1
12	4.6	10.6
2014/1	1.6	8.1
2	△2.6	1.5
3	0.1	2.7
4	△1.2	3.0
5	1.3	10.5
6	2.1	12.2
7	4.8	13.6
8	6.3	2.1
9	3.9	6.7



※対象施設数: 29施設(シティ10、リゾート19)、ビジネスは除く
※客室単価は29施設の平均値、宿泊収入は各施設の推計値の総額(稼働率及び客室単価より当社推計)
※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする
※2014年4月指標より新たに掲載

ホテル客室単価(シティ&リゾート)が前年同月比 3.9%増と前年同月を上回ったほか、宿泊収入も同 6.7%増と前年同月を上回りました。

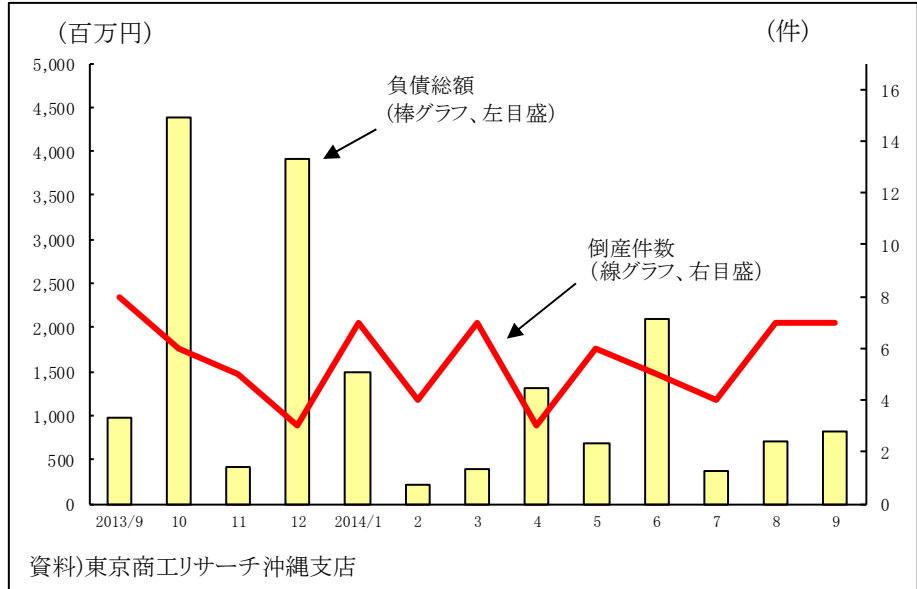


■企業倒産: (ふつう)

企業倒産…件数、負債総額はともに前年同月を下回る。

単位:百万円、件

	負債総額	倒産件数
2013/9	971	8
10	4,376	6
11	419	5
12	3,910	3
2014/1	1,492	7
2	214	4
3	386	7
4	1,314	3
5	683	6
6	2,090	5
7	361	4
8	697	7
9	808	7



9月の**企業倒産件数**は、7件(うち、10億円以上の大型倒産が0件、1億円以上の大口倒産2件)発生し前年同月より12.5%減少し、負債総額も8億800万円と16.8%減少しました。

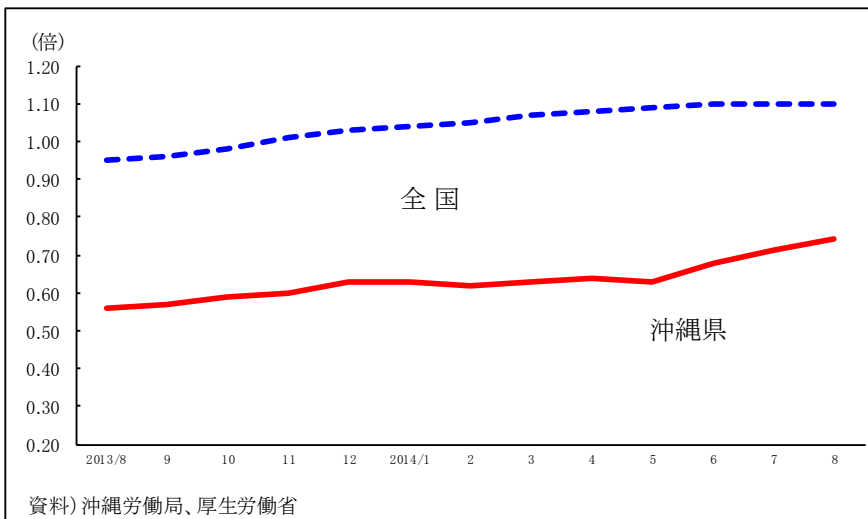


【参考】雇用関連: (やや良い)

(参考)有効求人倍率(8月)…前月より上昇。

単位:倍

	沖縄県	全国
2013/8	0.56	0.95
9	0.57	0.96
10	0.59	0.98
11	0.60	1.01
12	0.63	1.03
2014/1	0.63	1.04
2	0.62	1.05
3	0.63	1.07
4	0.64	1.08
5	0.63	1.09
6	0.68	1.10
7	0.71	1.10
8	0.74	1.10

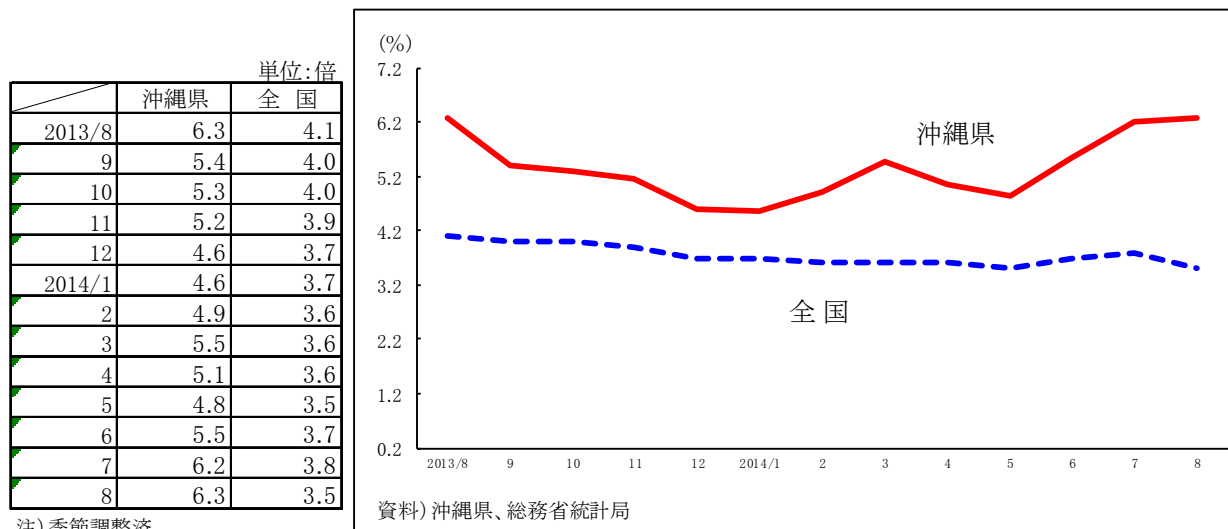


注)季節調整済

注)季節調整法は、センサス局法Ⅱ(X-12-ARIMA)による

8月の**雇用状況**は、月間有効求人数(季節調整値)は前月比5.1%増の21,388人に対して、月間有効求職者数(同上)は同1.5%増の29,046人となり、有効求人倍率(季節調整値)は0.74倍となり前月より0.03ポイント上昇しました。

(参考) 完全失業率…前月より上昇。



注) 季節調整済

8月の完全失業率(季節調整値)は、6.3%となり前月より0.1ポイント上昇しました。